

株主メモ

- 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部
- 証券コード 4119
- 単元株式数 1,000株
- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月中
- 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
- 単元未満株式買取手数料および買増手数料
無料
- 公告掲載方法 電子公告といたします。
当社ホームページアドレス
<http://www.pigment.co.jp/>
(ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。)

【株式に関するお手続きについて】

○証券会社等でお取引をされている株主様

お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社等
お手続き・ ご照会の内容	○住所・氏名等のご変更 ○単元未満株式の買取・買増請求 ○配当金の受領方法の指定 等
留意事項	未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部が承ります。

○特別口座に記録された株式をご所有の株主様

お手続き お問い合わせ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
手続用紙の ご請求方法	音声自動応答電話によるご請求 TEL 0120-244-479 (通話料無料) インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
お手続き・ ご照会の内容	○特別口座から一般口座への振替請求 ○住所・氏名等のご変更 ○単元未満株式の買取・買増請求 ○配当金の受領方法の指定 (*) ○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 等
特別口座での 留意事項	特別口座では、株式の売却はできません。 売却するには、証券会社等に口座を開設したうえで株式の振替手続きが必要となります。

(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式は選択いただけません。

株主のみなさまの声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主のみなさまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で贈呈(図書カード500円)を進呈させていただきます。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4119

いいかぶ 検索

 空メールにより URL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

 携帯電話からもアクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media (イー・ツー・メディア) の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900 (平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

Pigment

日本ピグメント株式会社

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町三丁目20番地

TEL 03-6362-8801 FAX 03-6362-8808

<http://www.pigment.co.jp/>



UD FONT

この報告書は、環境に配慮し、
ベジタブルインキを使用して
おります。

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



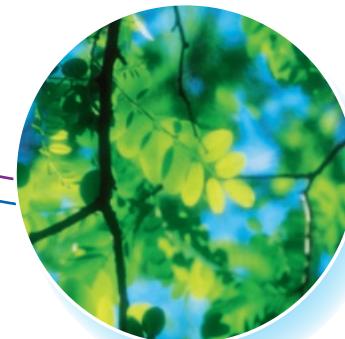
Business Report

第79期 報告書 2014.4.1—2015.3.31



世界を彩る、日本ピグメント

暮らしに色があるかぎり、
わたしたちは、提供しつづけます。



Pigment

日本ピグメント株式会社

証券コード：4119

経営理念

私ども日本ピグメントは、次の4つの理念を使命として、色彩関連製品を提供するとともに、人と自然環境の融合を理念においた製品作りを目指しております。

経営理念

1. 色彩を通じて、ゆとりのある生活をみなさまに提供し、社会の繁栄に寄与します。
2. グローバリゼーションの中で、地域社会との調和と共生を目指します。
3. 技術革新・サービス向上に努め、お客様のニーズに合った環境に配慮した高品質の製品作りを目指します。
4. 個性溢れる人材を育成し、創造性豊かで活力のある企業集団を目指します。

トップインタビュー

株主のみなさまには格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社グループは、企業価値向上に向けて今後とも全力を尽くしてまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月

取締役社長 **加藤 龍巳**



平成27年3月期(第79期)の業績と経営環境について教えてください。

当連結会計年度における我が国経済は、政府による経済政策、日銀による金融緩和の推進により、円安・株高が継続し、輸出関連企業を中心に企業収益の回復傾向がみられたものの、原材料価格の高止まりや消費税率引き上げに伴う個人消費回復の遅れが続く状況となりました。

このようななか当社グループの国内での販売は、自動車産業向けにおいては、消費税率引き上げによる影響からの脱却がみられ、建材産業向けにおいても概ね想定通りに推移しましたが、家電産業向けの一部においては想定を大幅に下回ることとなりました。また、東南アジア地区の販売は、インドネシアでの底固い需要はあるものの中国経済の減速等から域内全体で伸び悩みもあり、想定を下回りました。

このような結果、当連結会計年度の当社グループの売上高は44,096百万円(前期比5.0%増)となりましたが、とりわけ樹脂用着色剤の販売の伸び悩みと販売構成の悪化により、経常利益は239百万円(前期比63.0%減)、当期純利益は218百万円(前期比59.3%減)となりました。



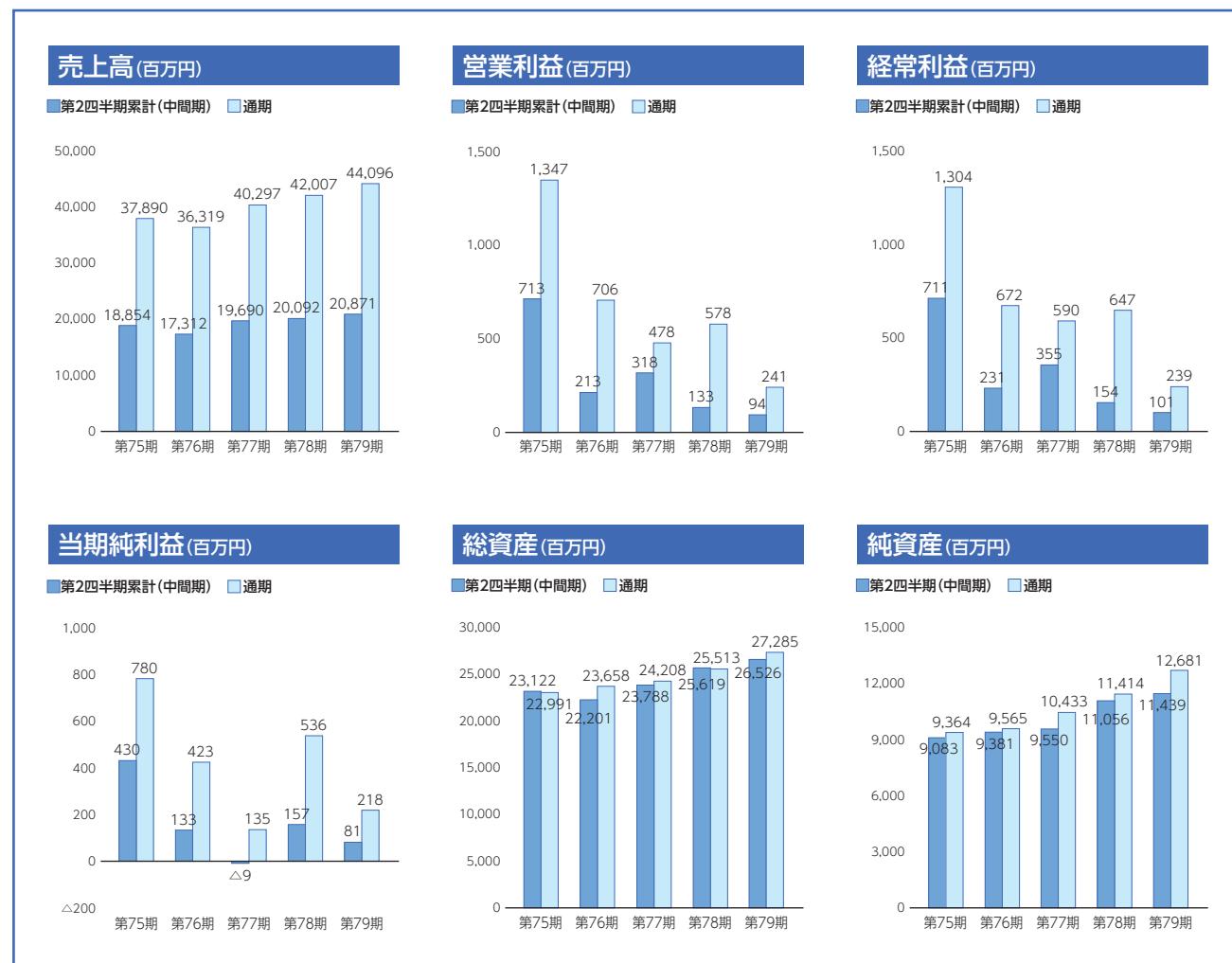
平成28年3月期(第80期)の見通しを教えてください。

海外では引き続き中国経済の弱含みや欧州政情不安定等もあり、景気の下振れリスクが懸念されますが、日本においては、政府による経済政策、日銀による金融緩和のもとに、企業部門に改善が期待され、雇用や所得環境の改善傾向が続くなかで、緩やかに回復していくことが期待されます。

このような状況のなか、当社グループは、業務の効率性を高めて更なる合理化を推進することで企業体質の強化を図るとともに、業績向上に向けて営業部門の強化を図り、技術力の強化、高付加価値品の拡販、環境への対応と高品質の維持・向上に努めてまいります。また、国内生産体制の効率化を図るとともに、エンドユーザーの海外移管の流れを睨み、海外での需要捕捉に努めてまいります。

●財務ハイライト

第79期は、販売構成の変化や為替の影響から増収となりましたが、とりわけ樹脂用着色剤の販売の伸び悩み等により減益となりました。



●連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度末 2015年3月31日現在	前連結会計年度末 2014年3月31日現在
資産の部		
流動資産	13,437	13,134
1 固定資産	13,847	12,379
有形固定資産	8,555	8,726
無形固定資産	46	60
投資その他の資産	5,246	3,592
資産合計	27,285	25,513
負債の部		
流動負債	10,821	10,642
2 固定負債	3,781	3,456
負債合計	14,603	14,099
純資産の部		
株主資本	10,617	10,492
資本金	1,481	1,481
資本剰余金	1,047	1,047
利益剰余金	8,104	7,978
自己株式	△15	△14
その他の包括利益累計額	1,133	104
少数株主持分	931	817
3 純資産合計	12,681	11,414
負債純資産合計	27,285	25,513

Point.1 固定資産について

固定資産は13,847百万円と前期末の12,379百万円に比べ1,468百万円の増加となりました。この主な要因は有形固定資産が171百万円減少したものの、投資有価証券が関係会社株式の取得等もあって1,559百万円増加したことなどによるものです。

Point.2 固定負債について

固定負債は3,781百万円と前期末の3,456百万円に比べ324百万円の増加となりました。この主な要因は長期借入金374百万円増加したことなどによるものです。

Point.3 純資産について

純資産合計は12,681百万円と前期末の11,414百万円に比べ1,267百万円の増加となりました。この主な要因はその他有価証券評価差額金が412百万円、為替換算調整勘定が480百万円、退職給付に係る調整累計額が136百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

連結財務諸表

●連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当連結会計年度 自 2014年4月 1日 至 2015年3月31日	前連結会計年度 自 2013年4月 1日 至 2014年3月31日
売上高	44,096	42,007
売上原価	40,851	38,546
売上総利益	3,245	3,460
販売費及び一般管理費	3,003	2,881
4 営業利益	241	578
営業外収益	195	242
営業外費用	198	173
経常利益	239	647
特別利益	66	118
特別損失	32	18
税金等調整前当期純利益	273	747
法人税、住民税及び事業税	124	82
法人税等調整額	△77	112
少数株主利益	8	15
5 当期純利益	218	536

Point.4 営業利益について

営業利益は、日本においては、とりわけ樹脂用着色剤の伸び悩み、海外においては汎用製品の比率が比較的高かったこともあり前期と比べ336百万円の減少となりました。

Point.5 当期純利益について

営業利益の減少に伴って、当期純利益は前期と比べ318百万円の減少となりました。

●連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当連結会計年度 自 2014年4月 1日 至 2015年3月31日	前連結会計年度 自 2013年4月 1日 至 2014年3月31日
6 営業活動による キャッシュ・フロー	1,148	231
7 投資活動による キャッシュ・フロー	△1,289	△734
8 財務活動による キャッシュ・フロー	24	△392
現金及び現金同等物に 係る換算差額	120	199
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	3	△695
現金及び現金同等物の 期首残高	2,077	2,779
連結除外に伴う現金及び 現金同等物の減少額	-	△6
現金及び現金同等物の 期末残高	2,081	2,077

Point.6 営業活動によるキャッシュ・フローについて

当連結会計年度において営業活動による資金の収入は1,148百万円となりました。これは、売上債権の減少等によるものです。前連結会計年度は資金の収入が231百万円でした。

Point.7 投資活動によるキャッシュ・フローについて

当連結会計年度において投資活動による資金の支出は前連結会計年度と比べ555百万円増加し、1,289百万円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が前連結会計年度と比べ316百万円減少したものの、関係会社株式の取得による支出868百万円が発生したこと等によるものです。

Point.8 財務活動によるキャッシュ・フローについて

当連結会計年度において財務活動による資金の収入は24百万円となりました。前連結会計年度は392百万円の減少でした。

セグメント別概況

日本

日本は、自動車産業向けは輸出用等一部には堅調さもみられましたが、消費税率引き上げ後の個人消費の低迷による需要回復の遅れもあり、特に液晶関連等で大幅に予想を下回ることとなり、全体としては非常に厳しい状況となりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は24,127百万円(前期比3.7%増)となりましたが、商品構成の悪化等により営業損失としては991千円(前期営業利益237百万円)となりました。

東南アジア

東南アジアは、タイ、中国向け輸出の不冴え等から全般に受注が伸び悩んだことに加え、堅調に推移していたインドネシア国内需要も第4四半期以降、ガソリン価格引き上げ等の影響を受けて車両関係が伸び悩みました。

この結果、当連結会計年度の売上高は為替の影響から18,646百万円(前期比4.5%増)となりましたが、汎用製品の比率が比較的高かったこともあり、営業利益は242百万円(前期比24.5%減)となりました。

その他

その他は、中国での日系自動車関連の受注回復により、当連結会計年度の売上高が1,322百万円(前期比48.9%増)となりました。一方、利益面では汎用製品の比率の高まりから収益環境が悪化しましたが、経費節減に努め、営業利益は346千円(前期比98.2%減)となりました。

各部門別の概況

部門別の概況として樹脂コンパウンド部門は、自動車産業向けエンジニアリングプラスチック、建材産業向けが比較的堅調に推移いたしましたが、想定までには至りませんでした。

樹脂用着色剤部門は、国内需要が伸び悩むなか、一部の自動車産業向けや建材産業向けが比較的堅調に推移したものの、家電産業向け等において想定外の落込みから全体としては低調な結果となっております。最後に、加工カラー部門は、建材産業向けは比較的堅調に推移しましたが、自動車産業向けは販売が伸び悩んだこともあり、全体では想定までには至りませんでした。



日本ピグメントを知る 日本ピグメントの強みは？

みなさまに日本ピグメントをよりよく知っていただくため、当社製品の用途・事業内容・特長などを、わかりやすくご紹介しています。

長年蓄積された高度な技術と、高品質へのこだわり

当社は、お客様の色彩ニーズの満足度向上、品質の維持・向上への追求から、自社、グループ内での製造にこだわってまいりました。

このこだわりによって蓄積した、当社独自の着色剤および添加剤の選定・配合技術、コアテクノロジーである高度な分散技術、お客様に満足を提供するための生産技術などのノウハウが、コア・コンピタンスの源泉となっています。

特に分散技術においては、微細化が要求されるカラーフィルター用、インクジェット用などの液体分散体分野では、粒子をナノレベルまで微細化・分散させるなど、高度な技術を駆使し、さまざまな液体分散体を提供するなど、先端分野にも貢献しています。



～当社独自の着色剤・添加剤選定、および配合技術、更なる高機能化へ～



絶え間ない新しい用途・需要の登場により、お客様の要求する品質はより高まっています。このようななか、当社の高機能性、高意匠性を兼ね備えた製品は、市場から高い評価を得ています。また、よりお客様の満足を得られるよう、当社独自のノウハウを凝縮したCCM（コンピュータ・カラー・マッチングシステム）などを活用することにより、スピーディーな開発を行う体制を整えています。

今後も、付加価値の高い機能性分野などにも注力するほか、地球環境保全の取組みとした生分解性樹脂などの環境に配慮した分野についても、加工技術を含めて研究開発に取り組み、社会に貢献していきます。

会社の概要 (2015年3月31日現在)

●概要

- 会社名 日本ピグメント株式会社
(Nippon Pigment Company Limited)
- 本社所在地 東京都千代田区神田錦町三丁目20番地
- 代表者 取締役社長 加藤 龍巳
- 創業 1925年(大正14年)
- 事業内容 樹脂コンパウンド…… プラスチック成形用材料
樹脂用着色剤……… プラスチック着色剤
加工カラー……… 塩化ビニール着色剤等
ピグメントカラー…… 塗料用、印刷インキ用等
- 資本金 14億8,115万円
- 株式 東京証券取引所市場第二部上場

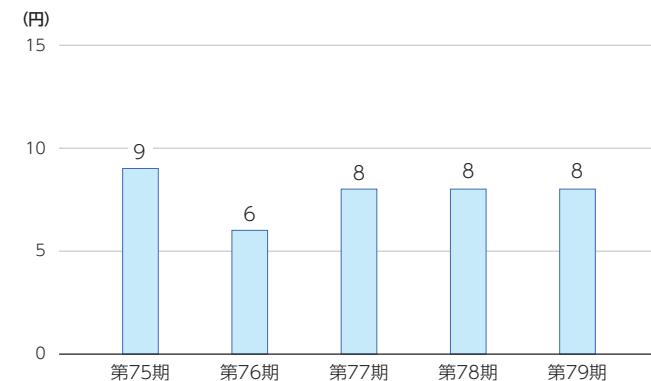
●国内拠点・海外拠点

- | | |
|----------|-------------------|
| ●本社・営業部門 | ●生産部門 |
| ・本社・東京支店 | ・埼玉川本工場(埼玉県) |
| ・大阪支店 | ・大阪工場(大阪府) |
| ・名古屋支店 | ・東京ピグメント(株)(埼玉県) |
| | ・ニッピ化成(株)(埼玉県) |
| | ・名古屋ピグメント(株)(愛知県) |
| | ・大阪ピグメント(株)(奈良県) |
-
- 海外
 - ・Nippon Pigment (S) Pte. Ltd. (シンガポール)
 - ・Nippon Pigment (M) Sdn. Bhd. (マレーシア)
[Head Office and Shah Alam Plant]
[Penang Plant]
 - ・P.T.Nippisun Indonesia (インドネシア)
 - ・天津碧美特工程塑料有限公司(中国)
 - ・NPK Co.,Ltd. (韓国/持分法適用関連会社)
 - ・上海新素材特種聚合物有限公司(中国/持分法適用関連会社)

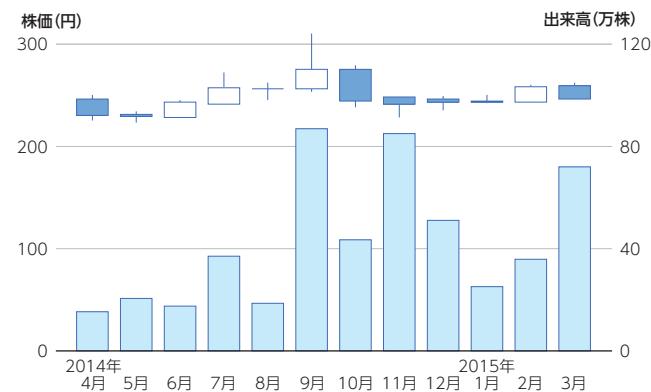
株式の概要

●株式の状況

- 発行可能株式総数 30,000,000株
- 発行済株式総数 15,758,994株
(うち自己株式52,502株)
- 株主数 2,050名
- 配当金の推移



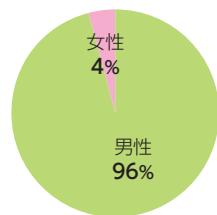
●株価チャート(月足)



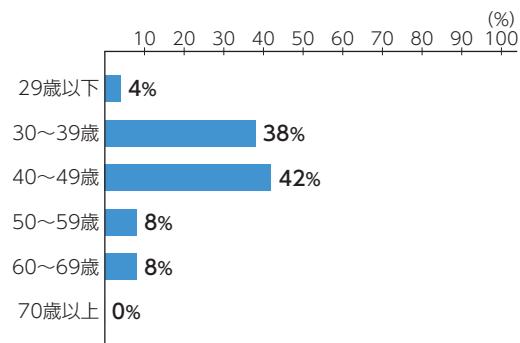
株主アンケート結果

当社では、第79期中間報告書送付の際に、株主様向けアンケートを実施いたしました。アンケートの結果について抜粋してご報告いたします。

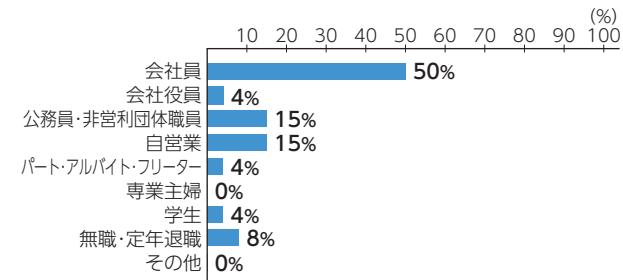
●あなたの性別をお知らせください。



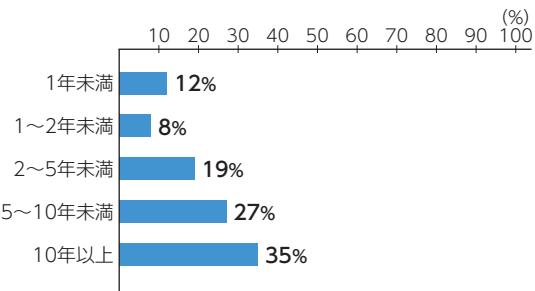
●あなたの年齢をお知らせください。



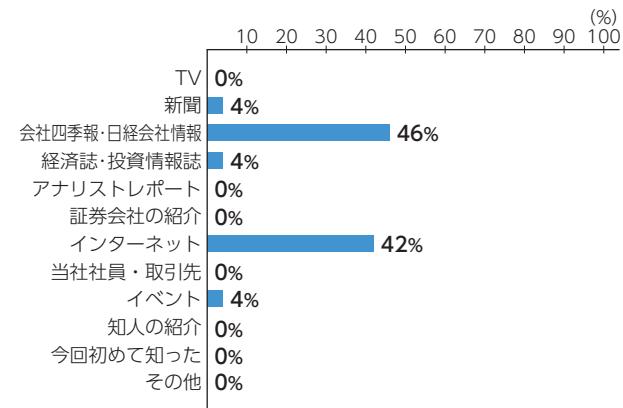
●あなたのご職業をお知らせください。



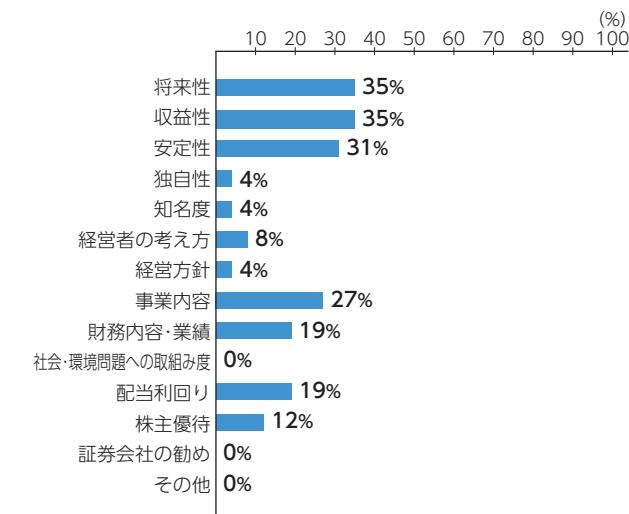
●あなたは株式投資を始めて、どのくらいになりますか。



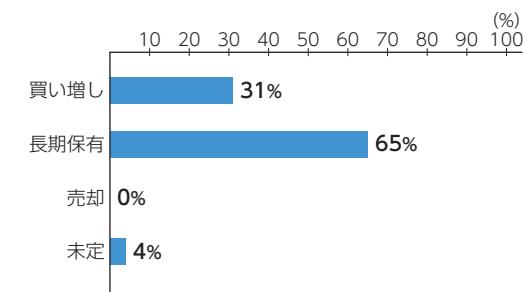
●あなたは当社をどこでお知りになりましたか。



●あなたが当社の株式を購入された理由は何ですか。



●あなたは当社の株式に対してどのような方針をお持ちですか。



このたびは、アンケートにご回答いただきまして、ありがとうございます。あらためて御礼申し上げます。

今回いただきましたご回答を、今後の参考にさせていただきます。